

# 北九州学術研究都市の まちづくりと戦略

原田昌幸, 河原真紀子  
(名古屋大学)

# まちづくりと戦略

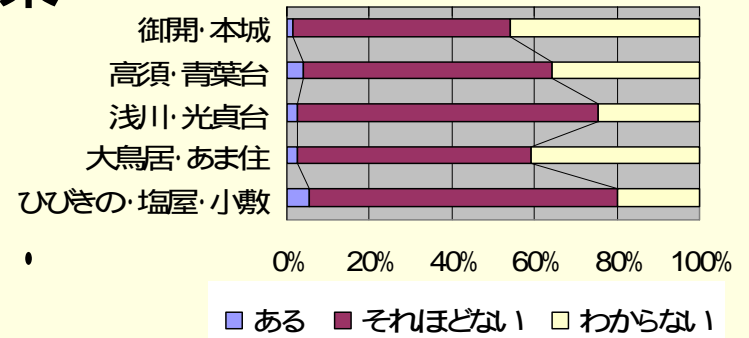
- コア部分の開発のあり方
  - コア部の方針について
- 住宅のあり方
  - 学研の住宅について
  - 住宅地の整備について
- 学研都市全体と交通環境整備のあり方
  - 地名について
  - 道路の整備について
  - 公共交通について
  - 歩道空間について
  - モデル事業・社会実験
- 2004年度研究計画案

# 1. コア部分の開発のあり方

## ■ コア部分の方針：「にぎわい」が必要か

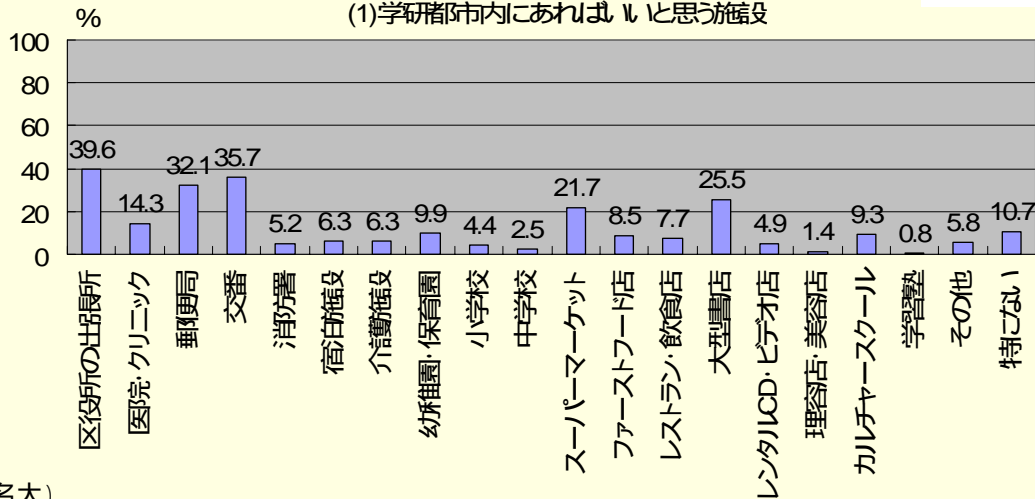
### ■ 設問2(13)と設問3(1)の結果

(13)学研都市市内に「にぎわい」はあるか

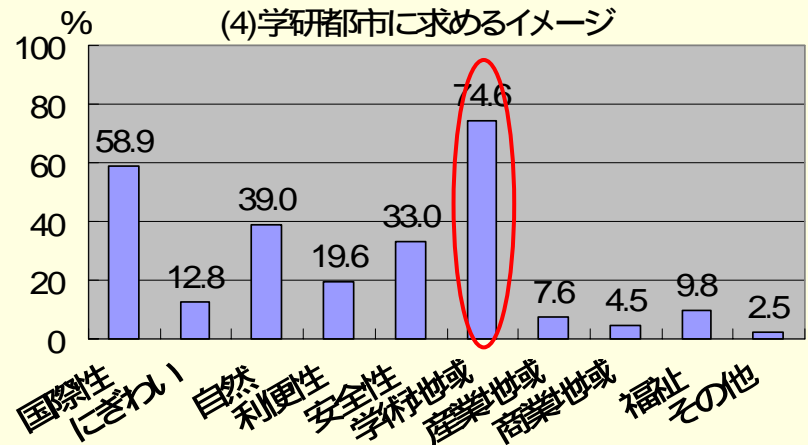


### ■ 現状：「にぎわい」はないが・・・

(1)学研都市市内にあればいいと思う施設



- 設問3(4)の結果
  - 「学術地域」
  - 「国際性」
  - 「自然」「安全性」・・・



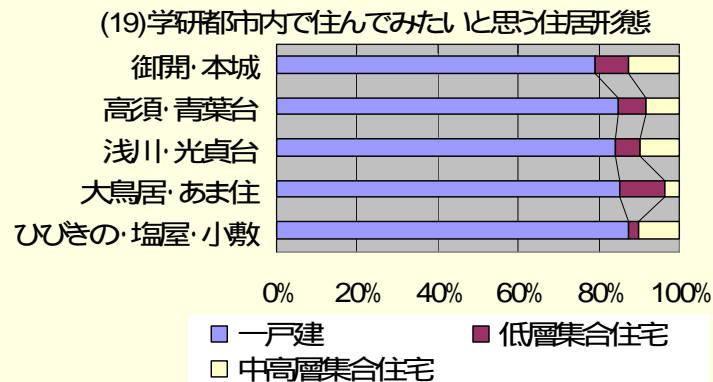
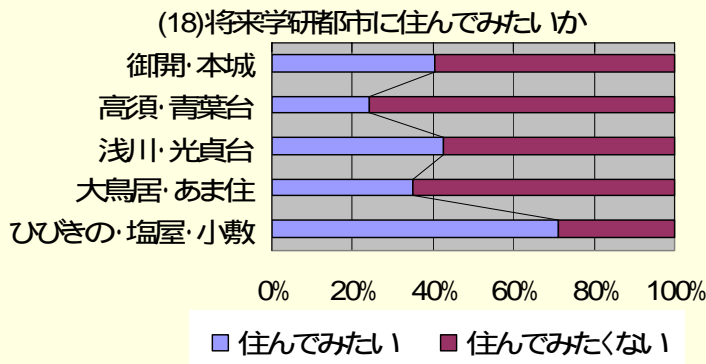
- 設問3(1)「19.その他」の自由記述の結果
  - 「テニスコート」「運動施設」「スポーツジム」・・・
  - 「子供が遊べる屋内施設」「小さな子供が遊べる公園」・・・

## ■ 考察と戦略

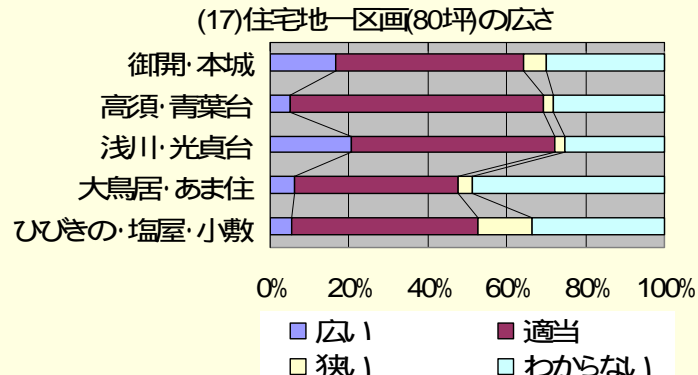
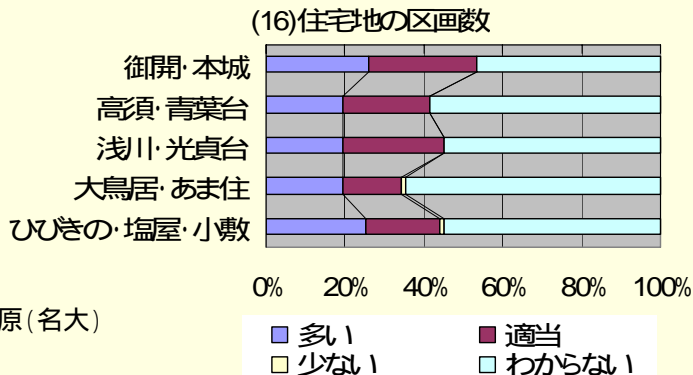
- 単なる「にぎわい」は不要では？
- イメージ：学術的雰囲気 + 自然 + 安全
- 一般の人でも利用できる学術性・文化性が高い施設の充実
- 自然を感じる要素 + 安全性の確保（3で検討）
- 運動場や体育館の周辺住民への開放  
（+ 子供たちの施設）
- 対住民向けの小売は、コア以外で対応？

# 2. 住宅のあり方

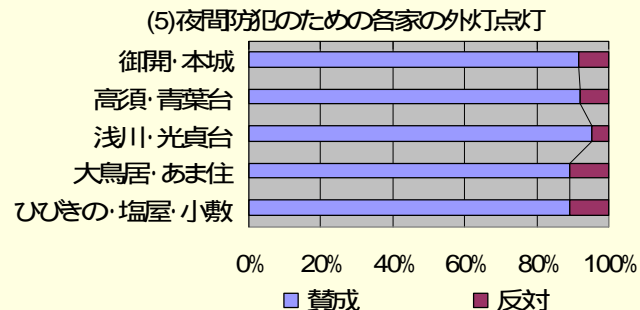
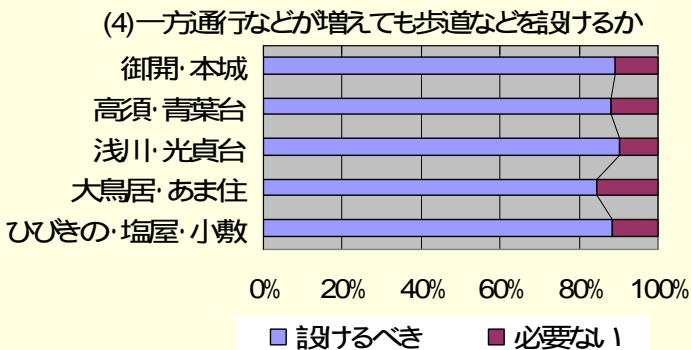
## ■ 学研の住宅について ■ 設問3(18)と3(19)の結果



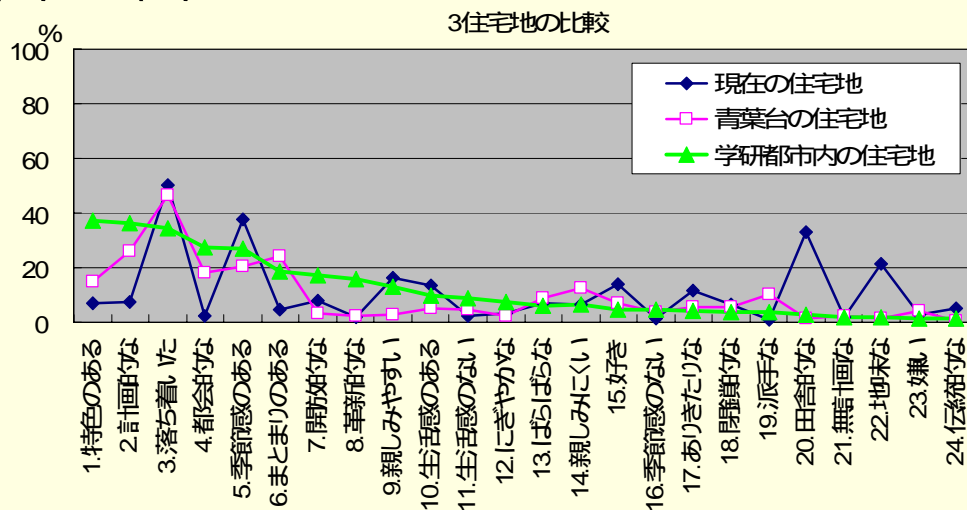
## ■ 設問3(16)と3(17)の結果



## ■ 設問4(4)と4(5)の結果



## ■ 設問8(1)～(3)の結果



## ■ 考察

- 学研の住宅地は魅力あり
- 「一戸建て」希望が圧倒的に主流
- 区画の広さは適当だが、区画の多さが課題
- 安全性(交通、犯罪)への要求は高い
- 学研住宅のイメージ:「特色のある」「都会的な」「革新的な」「計画的な」など
- 学研のイメージ:「学術地域」「国際性」「自然」「安全性」

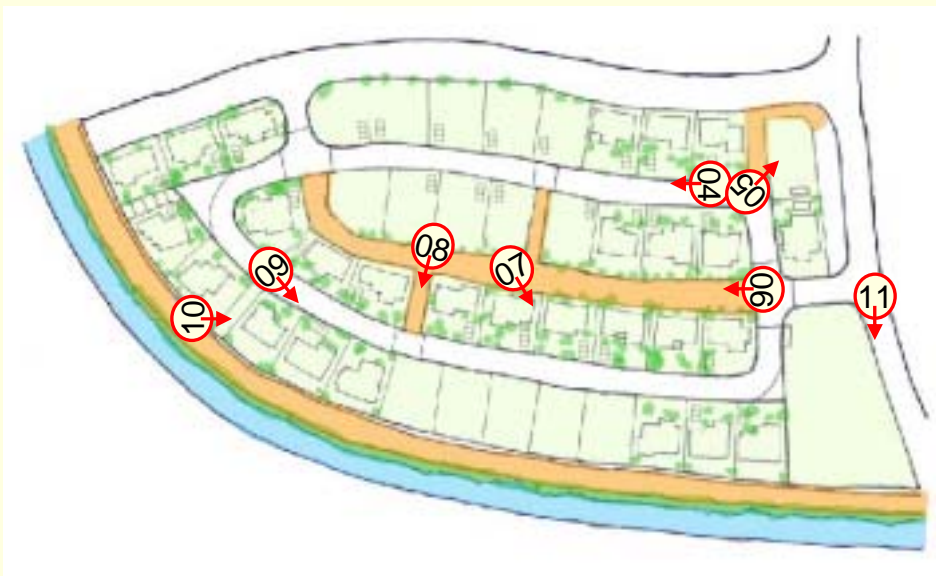
## ■ 戦略

- 学研と住宅地のイメージの共有:統一感 / 一体感
- 特色のある開発 (学術性)



- 特色のある開発と統一感/一体感
  - 統一感や一体感を生み出す具体的な仕掛け
  - 学術的な裏付けのある先進的試み: 社会実験の活用
- 具体的な戦略(4つの戦略)
  - 街路空間による一体性の醸成(歩道、街路樹)(3で)
  - 地名によるイメージ形成 (3で検討)
  - 環境共生(自然エネルギー、ごみ収集方式、家庭菜園など、街路樹)
  - 試験的、先進的試み: 社会実験、モデル事業(ウォーキング・トレイル事業など) (3で検討)

- 街路空間による一体性の醸成(歩道、街路樹)
  - 安全性と防犯性を備えた街路空間
  - 街路計画と歩車分離、路面仕様



手入れが不可欠

良: 曲線を用いた街路計画  
悪: 歩行者用道路が裏道に

## ■ 街路計画と歩車分離、路面仕様

- 十分な手入れ
- 十分な幅

抜け道、近道として有効



原田・河原(名大)



裏側の雰囲気、死角になる

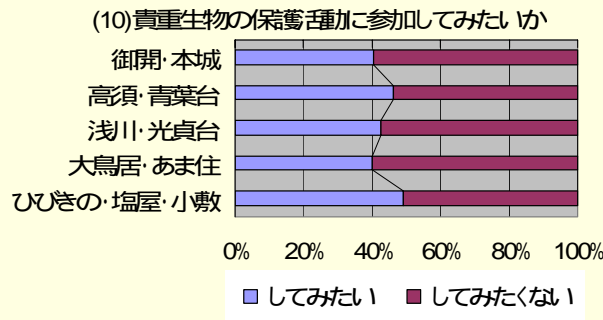
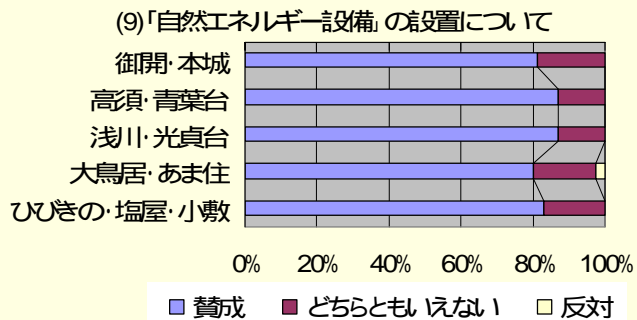
## ■ 拠点駐車場とタウンハウス(或いはタウンハウス風)

タウンハウスは「連続建て」と言われ、共用廊下や共用階段といったものがなく、それぞれの住戸の玄関が独立して敷地に面していること。

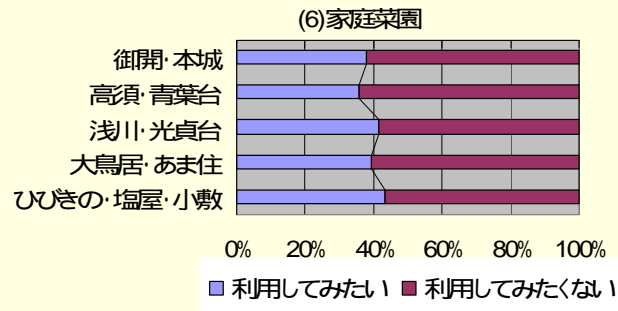
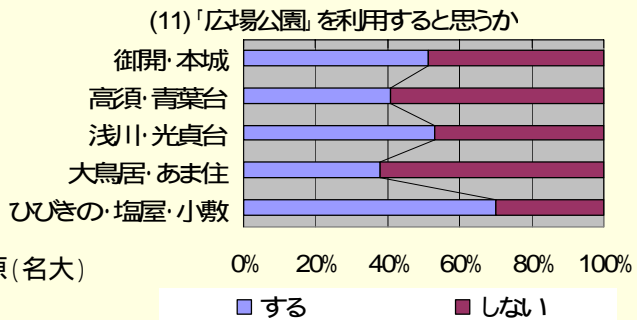


# ■ 環境共生(自然エネルギー、ごみ収集方式、家庭菜園など + 街路樹)

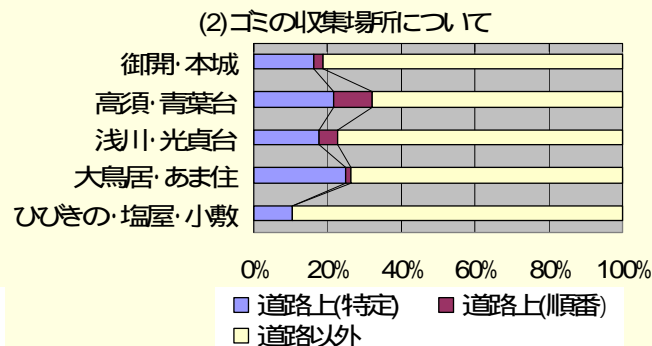
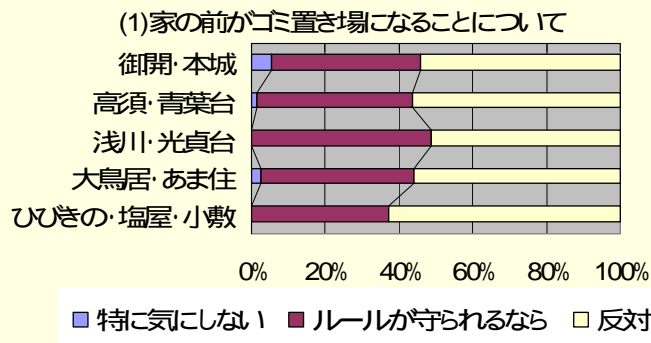
## ■ 設問2(3)と3(10)の結果



## ■ 設問3(11)と4(6)の結果



## ■ 設問4(1)と4(2)の結果



## ■ 考察と戦略

- 自然エネルギー: 要求は高いが・・・
- 共同菜園、動植物保護: 計画へ
- ゴミ収集・リサイクル: 新しい試みが必要、拠点駐車場に併設
- 環境共生: 好意的であるが・・・。
- エコハウス: 環境共生住宅認定事業、環境共生住宅市街地モデル、エコハウスメイクアップコンペ

- **ゴミ置き場：良い例がない。工夫が必要。**
  - キーワード：清潔（水道）、カラーブロック、囲わない
  - 拠点駐車場付近に設置

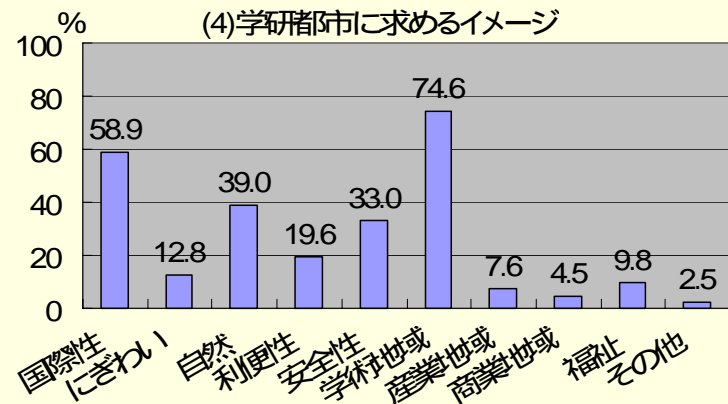


# 3. 学研都市全体と交通環境整備のあり方

## ■ 考察と戦略

- 学研住宅のイメージ: 「特色のある」「都会的な」「革新的な」「計画的な」など
- 学研のイメージ: 「学術地域」「国際性」「自然」「安全性」
- 学研と住宅地のイメージの共有: 統一感 / 一体感
  - 具体的な戦略: 街路空間(交通環境)と地名の変更
- 学術的な裏付けのある先進的試み

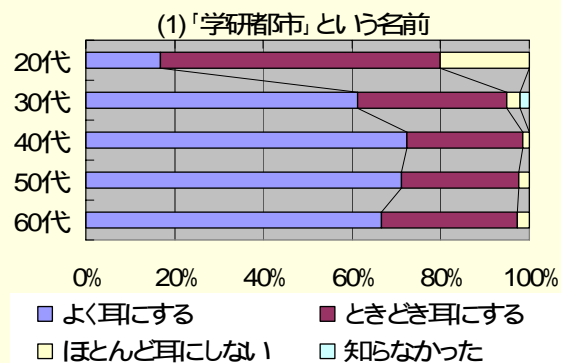
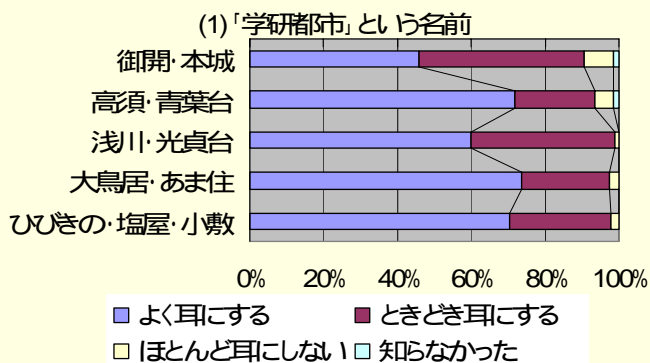
## ■ (再掲) 設問3(4)との結果



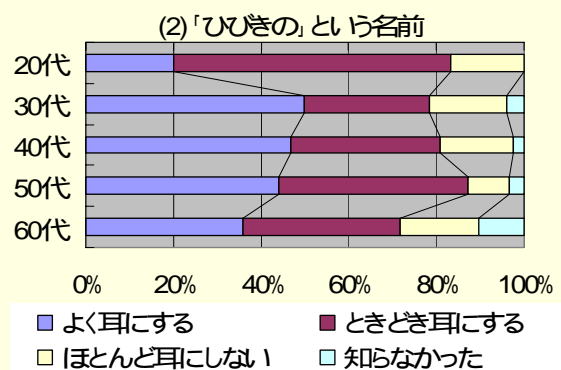
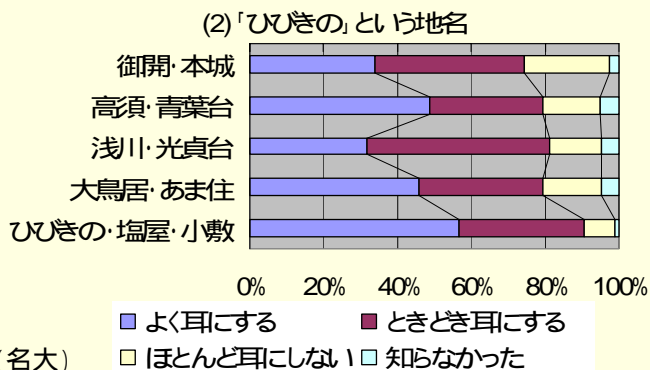


# 地名によるイメージ形成

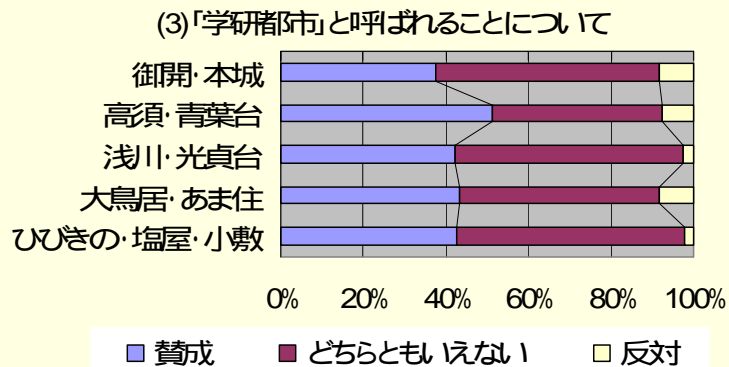
## 設問1(1)の結果



## 設問1(2)の結果



## ■ 設問3(3)の結果

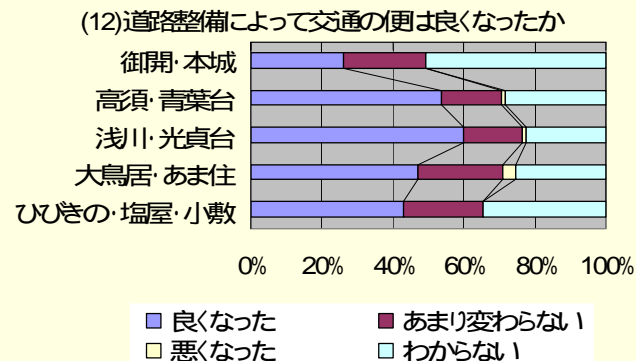
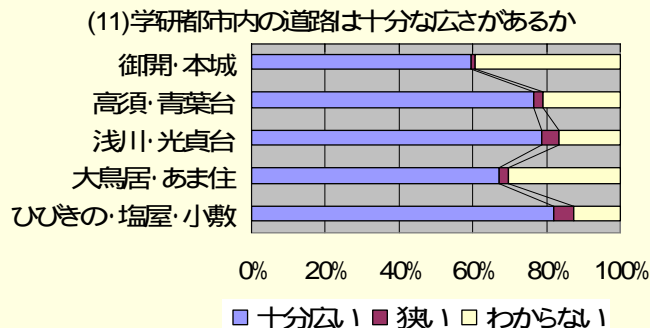


## ■ 考察

- 「学研都市」という呼び名に好意的
- 特別な意味(イメージ)を持たせられるかが鍵
- 『ひびきの』 『学研都市』でいいか？
- 地名変更のタイミング

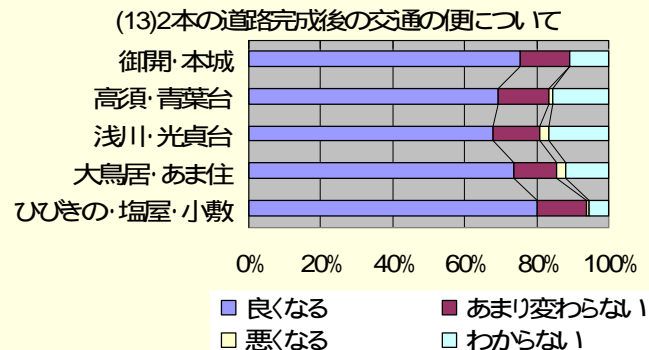
## ■ 道路の整備について

### ■ 現状評価：設問2(11)、2(12)、3(12)の結果



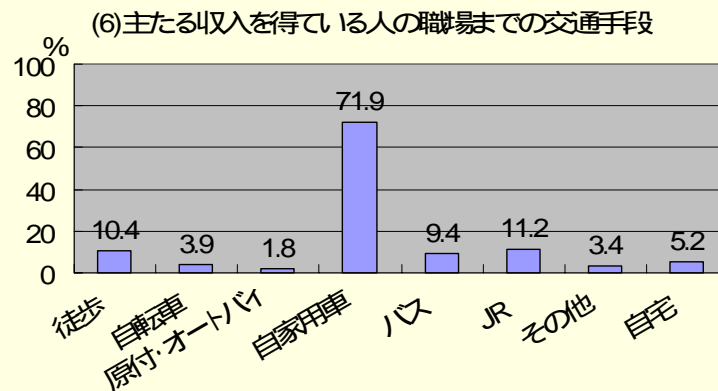
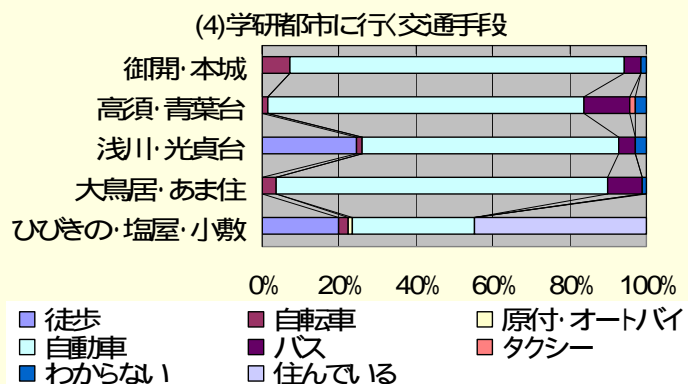
## ■ 考察

- 地区を分断する恐れは？
- 交通量増加の見積もりは？
- 信号の制御(歩行者優先)

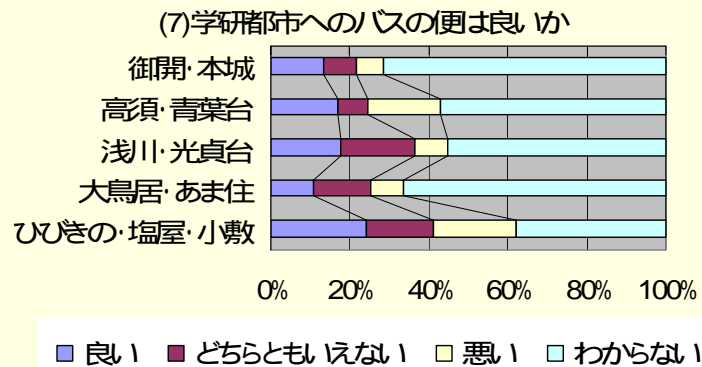


## ■ 公共交通について

### ■ 設問2(4)、7(6)の結果

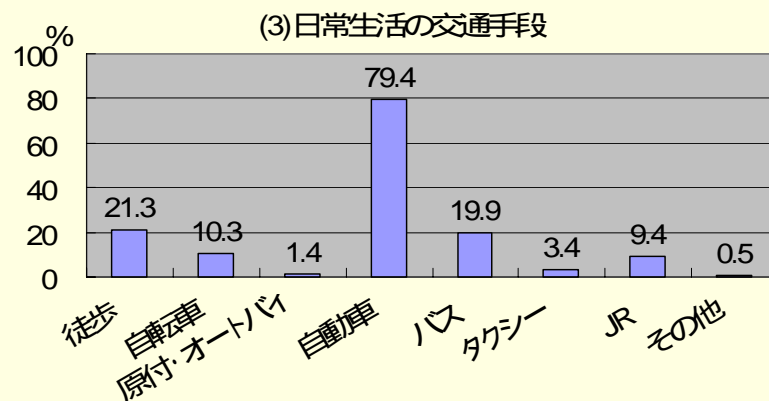
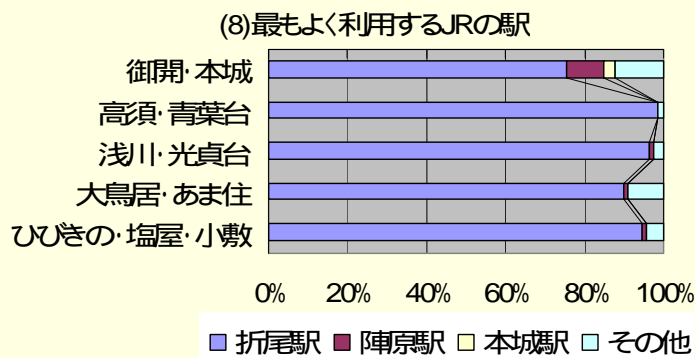


### ■ 設問2(7)の結果



## ■ 公共交通について

### ■ 設問 7(8)、9(3)の結果

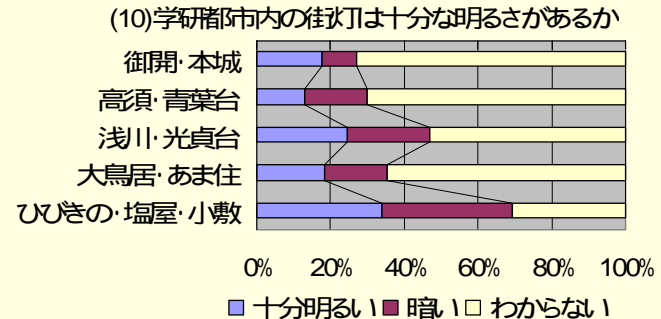
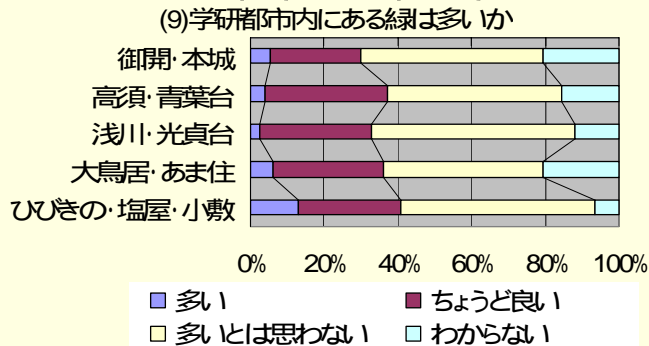


## ■ 考察と戦略

- 学研へ：自動車利用を前提にした駐車場整備
- 学研から：折尾駅を結ぶバス交通の充実が不可欠  
(やや高所得者層がターゲットなら一層)

## ■ 歩道空間について

### ■ 設問2(9)、2(10)の結果



### ■ 要件:

- 学術性、国際性、自然性の具現化
- 学研と学研住宅地のイメージの共有: 統一感、一体感
- 環境性、安全性の保証
- 集客性とイメージの向上: 歩道空間の魅力で集客

### ■ 戦略: 歩道の多次元活用

■ キーワード: 歩道と街路樹とループ

## ■ 歩道の舗装

- 連続性を持たせることにより 統一感、一体感
- 舗装材を工夫することにより 安全性、防犯性、快適性、環境性(透水性)、健康性(ウォーキング)、ユニバーサルデザイン化(段差の低減)・・・
- 舗装材：
  - インターロッキング：防犯性、環境性(透水性など)
  - ウレタン舗装：健康性、ユニバーサルデザイン、快適性
  - ゴムチップ舗装：健康性、ユニバーサルデザイン、快適性
- 歩道のクラス分け
  - 車道と歩道の分離ができる / できない、通学路・・・

## ■ 歩行者・自転車用道路



インターロッキングは汚れの問題

## ■ コミュニティ道路(ボンエルフ)、コーナーのデザイン





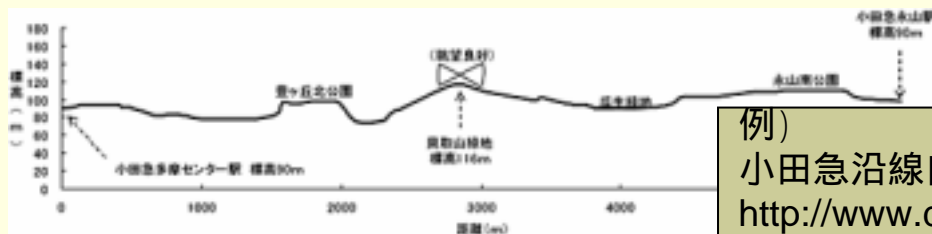
## ■ 街路樹

- 統一感、一体感の醸成
- 緑地の減少：量的でなく、質的に価値を高める
  - 四季の変化(花、紅葉、におい・・・)：季節感、四季感
  - 体験性を加える(自然観察＋自然保護地区、小川・・・)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ロウバイ(落葉低木 1~2月)	シナモンサク(落葉大低木 2~3月)		ハナミズキ(落葉広葉高木 4~5月)		キョウチクトウ(常緑小低木 6~8月)			キンモクセイ(常緑広葉中高木 10月)		サザンカ(常緑紅葉中高木 11~2月)	
											
		サクラ(落葉広葉低木 3~4月)				アジサイ(落葉広葉低木 6~7月)					カエデ(紅葉)落葉広葉樹 11~12月
ツバキ(常緑広葉低~高木 10~4月)											
											

## ■ ループ(ルート形成)

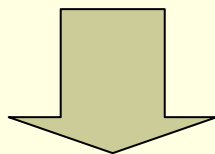
- 学研都市全体を使った計画
- 四季感、健康性(ウォーキングの距離表示)、環境性
- 自然保護地区、小川、公園などをつなぐ
- 自然を体験する:案内板
- まちを体験する:案内板
- 変化を体験する:案内板



例)  
小田急沿線自然ふれあい歩道  
<http://www.d-cue.com/walk/>



- 歩道空間を活用した開発計画
  - 学術的な裏付けのある先進的試み
  - 国交省「歩行者・自転車のための道路行政」への応募
    - くらしのみちゾーン
    - 「ウォーキング・トレイル事業」
  - 国交省「社会実験の推進」への応募



歩道空間を活用した  
実利とイメージの戦略